

Global Session 10月23日(土)のお知らせ(最新版)

期日:2021年10月23日(土)10:30~12:00

場所:ガレリア3階 会議室

ゲスト:フェルナー真理子さん

コーディネーター:募集中

タイトル:異文化の中で育つということとはどんなことか?(ゲームで体験してみよう)

参加費:600円(子どもさんは無料)

申し込み:児島きよみまで(e-mail:kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp)

定員:10名まで(コロナ禍のこともあり)

プロフィール:

1951年東京生まれ。11歳でCISV(Children's International Summer Villages)に参加のため、アメリカに夏休みに行く。立教大で教育学を専攻。その後ICUで日本語教育の勉強をする。1980年、CISVで知り合ったオーストリア人の夫とオーストリアで結婚。オーストリア政府観光ガイドの資格を取得。日本語教育を学校教育、成人講座で始め、2016年に退職。その間にグラーツ大学で教育学の修士号を取得。2020年12月より亀岡に夫と住んでいる。

概要:

今興味があるのは、継承語という海外で生まれた日本人の親を持つ子どもたちにどのように日本語を教えていくかということ。片親/両親が日本人でも子どもは日本語ができるようにはなりません。どうしたらいいのか、異文化の中で育つというのがどんなものか、皆さんに体験していただきたいと思います。それにより、亀岡、また日本、そして世界中で異文化の中で生きていくことがどうということか一緒に考えていきたいと思います。

Fellner 真理子さんは、現在亀岡にお住まいです。子どもさんはオーストリアと日本と両方にお住まいのようです。ご自身で子どもさんの言語の学習の課題に取り組まれてきました。今は、京都市国際交流会館を中心にした「きょうと多文化支援ネットワーク」などにも連絡を取りながら、ご自身の体験を生かした活動を模索されているようです。是非、オーストリアでの体験なども踏まえ、ごいっしょにどのようなことができるのかをさぐっていききたいと思います。

是非、ご参加ください。子どもさんもごいっしょにどうぞ。(児嶋記)

2021年度のGlobal Session(2021年8月15日現在)

4月18日(日)10:30~12:30 ガレリア2階大広間 終了 339回目

ゲスト:品田井サフワンさん(シリア出身・会社員)

「APU(立命館アジア太平洋大学)時代からのわたし」

5月22日(土)10:30~12:00 ガレリア2階 研修室 終了 340回目

ゲスト:北神圭朗さん(2回目)

「Learning Two Cultures, Two Languages (二つの文化、二つの言語を学ぶ)」

これは、今のひまわり教室のこどもたちの実際の体験者のおはなしのような内容です。

6月12日(土)村田英克さん(3回目):10:30~12:00 (JT生命誌研究館スタッフ) 終了
〈謡曲『胡蝶』と生命誌研究館の「食草園」企画展〉ガレリア3階 会議室
341回目

7月25日(日)濱田雅子さん:(20回目) 10:30~12:30 ガレリア3階 会議室 syuuryou
『20世紀アメリカの女性デザイナーの知られざる真実—ティナ・リーサの作品に見るフェアトレードと持続可能性—』

ゲスト他3名はオンラインで参加 終了 342回目

9月→10月2日(土)10:30~12:00 343回目 終了

玉野井麻利子さん:(3回目)(アメリカ大学教授)

「人類学とは何か—を気軽に考えてみよう」

10月23日(土):Fellner 真理子さん(オーストリアで日本語教師・亀岡在住) 344回目

「異文化の中で育つとはどんなことか(ゲームで体験してみよう)」

11月7日(日) 1:30~3:00 ガレリア3階 会議室(8月から) 345回目

(8月予定からこちらへ)

内田晴子さん:(世界人権問題研究センター研究員)

『差別するかもしれない私に気づく』

11月:濱田雅子さん(21回目) 346回目

服飾から見た生活文化シリーズ 21回目

「写真に見るアメリカの民衆の装い(その1)—1840年代の生活文化を垣間見る—」

12月:オジュグさん(ポーランド出身・大学教員)

「音楽からさぐるポーランドのクリスマス」(仮題) 347回目

1月23日(日) 品田井サフワンさん(シリア出身・会社員) 348回目

2月:村田英克さん(4回目) 349回目

3月 濱田雅子さん(22回目) 350回目

4月以降の候補者:仲山徳音さん(元亀岡市副市長)・崎ミチさん・玉野井麻利子さん

